

# 平成25年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年8月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,393億円余
2. 前年同月比	-1.0% (店舗数調整後/7か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.6%(90.1%) : 非店頭-4.2%(9.9%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成25年6月対比-1店)
5. 総店舗面積	875,636㎡ (前年同月比:-3.9%)
6. 総従業員数	19,213人 (前年同月比:0.4%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 0.3%、1-3月 3.2%、2-4月 3.8%、 3-5月 4.6%、4-6月 5.6%、5-7月 4.3%

[参考] 平成24年7月の売上高増減率は-1.0% (店舗数調整後)

### 【7月売上の特徴】

- (1) 東京地区も前年割れだが、増床・改装効果の大きい複数の店舗があることから、-1%とほぼ前年並みに収まった。また、変動要素をならした6月・7月累計では、+3.9%と依然高い伸びを示している。
- (2) 衣料品が低調な中、涼感寝具やゆかた等を含む「その他衣料品」は+3.8%と健闘した。例年に比べて、暑さ対策・盛夏需要が高まっていることが背景にある。
- (3) 「中元商戦」の6月・7月通期業績は、ほぼ前年並みの結果であった。全国同様に、商戦前半が好調で後半から減速したこと、ネット受注の伸びで店頭をカバーしたことなどが報告されている。
- (4) 住宅市場の活況を背景に、「家具」が+4.7%と大幅な伸びを見せている。店によって売れ行きにバラツキがあるものの、およそ半数の店で前年実績をクリアした。また12か月連続プラスの「化粧品 (+5.5%)」、及び7か月連続プラスの「美術・宝飾・貴金属 (+18.6%)」は、共に大幅増となった。
- (5) 東京地区の8月中間段階での商況は、概ね5%~6%増で推移している。引き続き宝飾・高級時計などの「高額品」が好調であるほか、連日の猛暑により、帽子、サンダル、ストール、サングラス、日傘、UVコスメなどの「盛夏商材」も活発に動いている。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
  - ①増加した: 6店、②変化なし: 6店、③減少した: 7店
- (3) 7月歳時記 (夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み) の売上 (同上/有効回答数14店舗)
  - ①増加した: 2店、②変化なし: 3店、③減少した: 9店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2013年07月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>139,361,874</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.0 ( -1.6)</b>
紳士服・洋品	10,458,123	7.5	-2.1 ( -2.4)
婦人服・洋品	28,173,844	20.2	-4.8 ( -5.5)
子供服・洋品	2,038,044	1.5	-10.4 ( -10.6)
その他衣料品	3,138,906	2.3	3.8 ( 3.4)
<b>衣 料 品</b>	<b>43,808,917</b>	<b>31.4</b>	<b>-3.8 ( -4.4)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>18,616,844</b>	<b>13.4</b>	<b>-2.0 ( -2.3)</b>
化粧品	6,942,568	5.0	5.5 ( 5.0)
美術・宝飾・貴金属	8,278,449	5.9	18.6 ( 18.2)
その他雑貨	5,986,335	4.3	1.7 ( 1.3)
<b>雑 貨</b>	<b>21,207,352</b>	<b>15.2</b>	<b>9.1 ( 8.6)</b>
家 具	2,152,315	1.5	4.7 ( 1.5)
家 電	792,457	0.6	-7.4
その他家庭用品	4,564,699	3.3	1.7 ( 1.4)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>7,509,471</b>	<b>5.4</b>	<b>1.5 ( 0.4)</b>
生 鮮 食 品	6,184,697	4.4	-2.4 ( -3.0)
菓 子	10,173,058	7.3	-3.3 ( -4.1)
惣 菜	7,569,357	5.4	-0.3 ( -1.0)
その他食料品	15,272,216	11.0	-5.1 ( -5.4)
<b>食 料 品</b>	<b>39,199,328</b>	<b>28.1</b>	<b>-3.3 ( -3.9)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>3,597,830</b>	<b>2.6</b>	<b>4.1 ( 1.7)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,176,356</b>	<b>1.6</b>	<b>-5.1</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,245,776</b>	<b>2.3</b>	<b>6.7 ( 1.9)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	4,941,721 千円	-7.0 ( -7.5)
従 業 員 数	19,213 人	0.4
店 舗 面 積	875,636 m <sup>2</sup>	-3.9

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が5か月連続、家庭用品が4か月連続のプラス。食料品が2か月ぶり、衣料品が6か月ぶり、身のまわり品が9か月ぶりのマイナスとなった。また、化粧品が12か月連続、美術・宝飾・貴金属が7か月連続、その他衣料品が4か月連続、その他家庭用品が3か月連続、その他雑貨が2か月連続のプラス、家具が2か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-1.0</b>	<b>—</b>	<b>7か月ぶりマイナス</b>
紳士服・洋品	-2.1	-0.2	6か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-4.8	-1.0	6か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-10.4	-0.2	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	3.8	0.1	4か月連続プラス
<b>衣料品</b>	<b>-3.8</b>	<b>-1.2</b>	<b>6か月ぶりマイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-2.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>9か月ぶりマイナス</b>
化粧品	5.5	0.3	12か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	18.6	0.9	7か月連続プラス*
その他雑貨	1.7	0.1	2か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>9.1</b>	<b>1.3</b>	<b>5か月連続プラス</b>
家具	4.7	0.1	2か月ぶりプラス
家電	-7.4	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	1.7	0.1	3か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	<b>1.5</b>	<b>0.1</b>	<b>4か月連続プラス</b>
生鮮食品	-2.4	-0.1	3か月ぶりマイナス*
菓子	-3.3	-0.2	4か月連続マイナス*
惣菜	-0.3	0.0	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	-5.1	-0.6	3か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>-3.3</b>	<b>-1.0</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>4.1</b>	<b>0.1</b>	<b>9か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>-5.1</b>	<b>-0.1</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>6.7</b>	<b>0.1</b>	<b>3か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-7.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>27か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>